

地域の安全を守る
消防出初式を行ないました

1月8日、西合志南中学校で消防出初式を開催しました。安田秀一団長をはじめとする消防団員383人が参加し、式典および全分団の通常点検を行ないました。「災害は忘れたころにやってくるもの、常日頃から油断することなく備えることが重要」という安田団長からの訓示を受け、団員たちはことし1年が災害の少ない年となるよう、防災意識を新たにしました。



各分団整列



壇上で敬礼する安田団長

100歳おめでとうございます

12・1月に100歳を迎えた皆さんに、市長からお祝い状とお祝い金が贈られました。



松岡 正之さん
(大正11年12月25日生)



米岡 トヨさん
(大正12年1月11日生)



緒方シヅ子さん
(大正12年1月12日生)



野邑美恵子さん
(大正12年1月21日生)

文化芸術自主事業 瀧川鯉昇・瀧川鯉斗 落語競演会を開催しました

12月18日にヴィーブル文化会館で、瀧川鯉昇さん、瀧川鯉斗さんによる師弟落語会を開催しました。前座には春風亭柳雀さんをお迎えして、みなさん持ち味の違った“噺”を披露してくれました。

前座を務めた柳雀さんは、自身のキャリアの話を通り交ぜながら古典落語をわかりやすく伝え、場を盛り上げました。イケメン落語家として話題の鯉斗さんは、芸能界の話を変えながら話をし、特に若い人は興味津々に耳を傾けていました。トリを飾った鯉昇さんは、「合志市のヴィーブルで落語をするこ

とが子どもの頃からの夢でした」と話し始め、一気に会場の皆さんを笑いで引き込んでいました。来場者の中には、小学生など子どもの姿もあり、初めて落語を見る人たちにも分かりやすい内容で、子どもから大人まで楽しめる公演となりました。マスク着用での観覧となりましたが、会場内は笑い声が響き暖かい空気に包まれました。

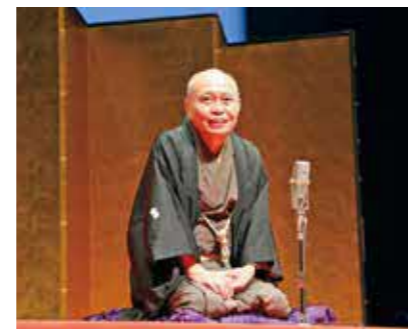
市文化芸術自主事業実行委員会では、今後も皆さんに楽しんでもらえるイベントを企画していきます。



春風亭 柳雀さん



瀧川 鯉斗さん



瀧川 鯉昇さん

全国障害者スポーツ大会
卓球の部で優勝

10月29～31日に栃木県で行なわれた、第22回全国障害者スポーツ大会『いちご一会とちぎ大会』に県代表として松原律子さん(泉ヶ丘)が出演し、卓球女子の部で優勝しました。

松原さんは、以前にも同大会で3連覇を果たすなど全国で活躍しています。

12月2日、市長を表敬訪問し、次回大会でのさらなる躍進を誓いました。



左から市長、松原さん



会場での松原さん

少林寺拳法熊本東スポーツ少年団
県交流大会で大活躍

11月27日、山江村体育館で2022年度少林寺拳法熊本県スポーツ少年団交流大会が開催され、少林寺拳法熊本東スポーツ少年団(庭田孝男支部長)の選手たちが活躍しました。組演武・中学生段外の部と団体演武・中学生の部で1位となった藤川日葵さん(合志中2年)は「練習を休まず続けてきた努力が実り、優勝できてとても嬉しかったです。これからも修練に励みたい」と喜びを述べました。



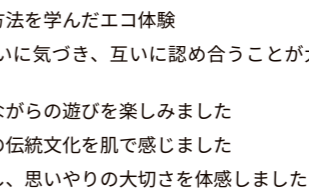
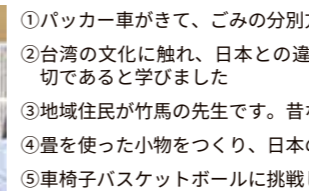
多くの仲間が入賞しました。先生や保護者のサポートのおかげです

地域のみなさんありがとう
体験活動が子どもたちの力に

12月3日、合志南小学校で『南小フェスティバル』を開催しました。今回のイベントは、新型コロナウイルスの影響もあり、令和元年以来、3年ぶりの開催となりました。地域の住民や保護者が講師となり、さまざまな遊びや職業体験、外国の文化に触れ、楽しみました。PTA・地域住民・地域コーディネーター、地元企業が協力し、学校全体に39の体験ブースを設置。川畑愛子PTA会長は「久しぶりの開催に、

子どもたちもこの日をワクワク・ドキドキで待ちわびていました。日頃から自分の生活が大勢の人たちの仕事に支えられていることを考える良いきっかけにしてほしい」と話しました。

パン屋さんの職業体験をした村上芽生さん(6年)は「仕事は楽しいことばかりではなく、責任もあることも学びました」と語りました。



- ①パッカー車がきて、ごみの分別方法を学んだエコ体験
- ②台湾の文化に触れ、日本との違いに気づき、互いに認め合うことが大切であると学びました
- ③地域住民が竹馬の先生です。昔ながらの遊びを楽しみました
- ④畳を使った小物づくり、日本の伝統文化を肌で感じました
- ⑤車椅子バスケットボールに挑戦し、思いやりの大切さを体験しました